



# メルトーチ坊やの 改修工事 納まり事例集

技術の翼  
革新の心  
Wings of technology  
Spirit of innovation  
**UBE**

※本資料に記載の納まり図は一般的な参考例であり、実際の改修工事においては、現場毎の対応が必要になる場合があります。

## 宇部興産株式会社

建設資材カンパニー 建材事業部 防水材販売グループ  
〒105-8449 東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーパンスN館 TEL(03)5419-6203 FAX(03) 5419-6268

### ●営業

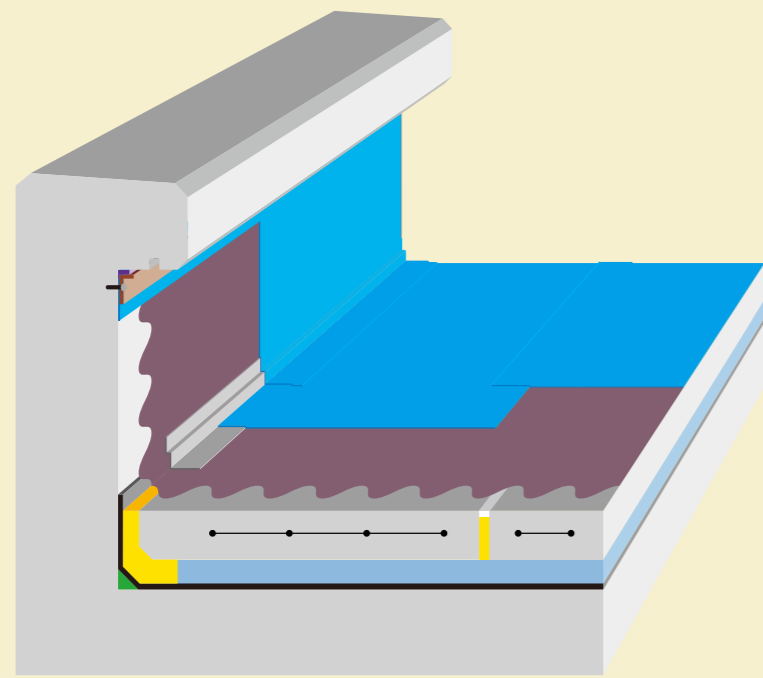
大阪建材支店 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-2-16 桜橋東洋ビル TEL 06-6346-1363  
名古屋建材支店 〒461-0005 名古屋市中区東桜1-1-10 アーバンネット名古屋ビル TEL 052-961-1375  
広島建材支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22 興銀ビル TEL 082-244-7234  
九州建材支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-24 天神セントラルプレイス TEL 092-781-2309  
東北建材営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 鹿島広業ビル TEL 022-262-6235  
札幌建材営業所 〒007-0801 札幌市東区東苗穂一条1-2-44 TEL 011-784-8183

### 販売取扱店

カタログの記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。  
このカタログは再生紙を使用しています。

- 1 熱アス保護断熱工法例
- 2 熱アス露出断熱工法例
- 3 熱アス露出工法例 1
- 4 熱アス露出工法例 2
- 5 熱アス露出工法例 3
- 6 熱アス露出工法例 4
- 7 熱アス露出工法例 5
- 8 改質アス露出工法例
- 9 ウレタン露出工法例 1
- 10 ウレタン露出工法例 2
- 11 ウレタン露出工法例 3
- 12 ウレタン露出工法例 4
- 13 塩ビ・ゴムシート工法例
- 14 既存アスファルト防水層を全面残す場合の例
- 15 保護断熱工法 ドレン廻り例
- 16 熱アス露出工法 ドレン廻り例 1
- 17 熱アス露出断熱工法 ドレン廻り例 2
- 18 ウレタン露出工法 ドレン廻り例
- 19 横引きドレン廻り例
- 20 立上り納まり例 1
- 21 立上り納まり例 2
- 22 架台・配管回り納まり例

メルトーチ工業会  
宇部興産株式会社



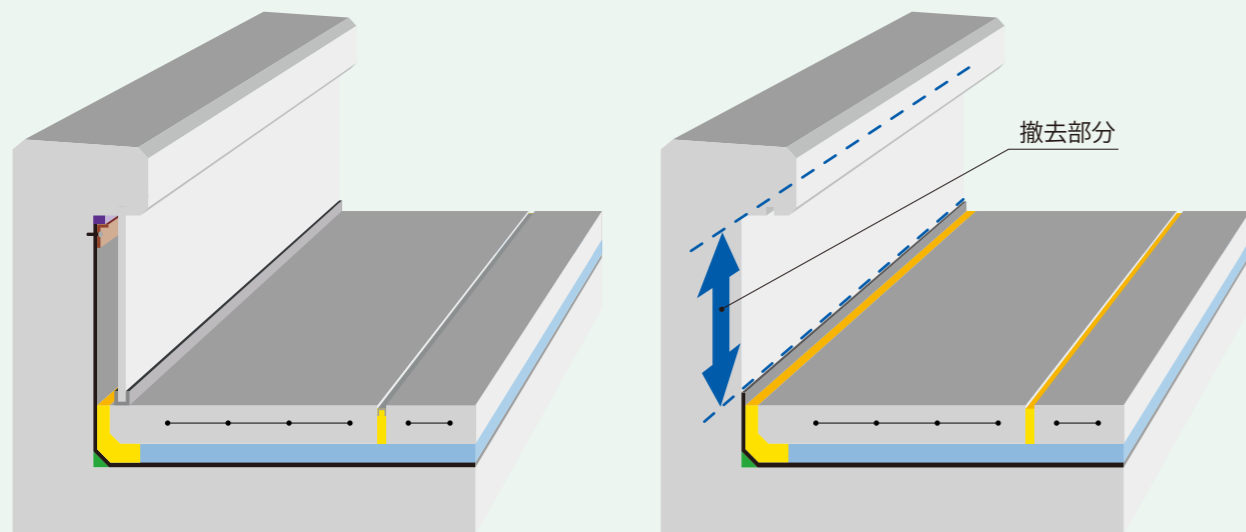
## 推奨工法

TA-202工法  
TS-202工法

- 既存防水層
- 断熱材
- 成形目地及び緩衝材
- 保護モルタル層
- 端部シール材
- 増し張りテープ
- 押さえ金物
- 新規防水層
- プライマー

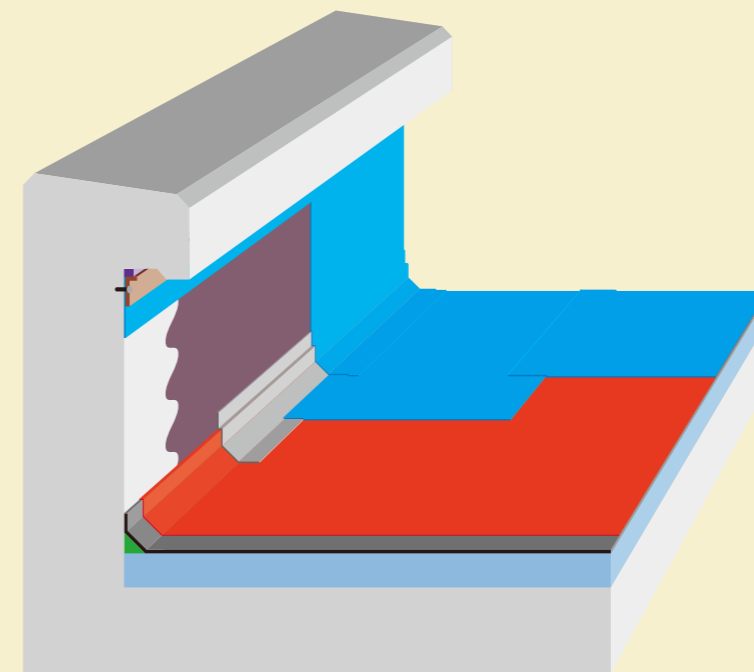
### 改修方法

1. 伸縮目地撤去部に新規目地処理を行う。(目地部分を通気溝として利用する場合は増し張りテープによる処理を行う)
2. 平場部及び立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 立上りコーナー部を増し張りテープで処理を行う。
4. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
5. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



### 既存防水層の撤去・補修

1. 保護ボードの撤去を行う。(撤去方法は、現場の指示に従うこと)
2. 端部押さえ金物の撤去を行う。
3. 立上り部の既存防水層の撤去を行う。  
(雨養生を考え、立上り10～50mm程度残し、シート端部をバーナーで炙り処理する)
4. 伸縮目地材の飛び出し部分・異物等を除去する。(目地部を通気溝として利用する場合、可能な限り除去する)
5. コンクリート保護層表面が経年により脆弱していたり、骨材が見えたり凹凸がある場合、ポリマーセメントモルタルで下地強化を図る。



## 推奨工法

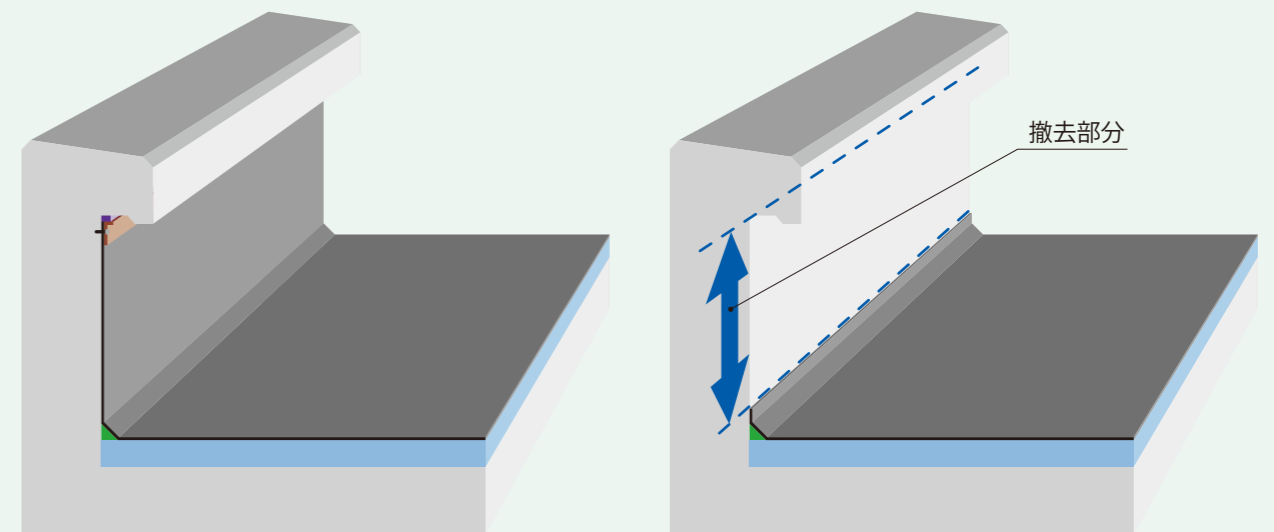
TA-202工法  
TS-202工法

※機械固定工法も現場により可能

- 既存防水層
- 断熱材
- 端部シール材
- 増し張りテープ
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 新規防水層
- プライマー塗布

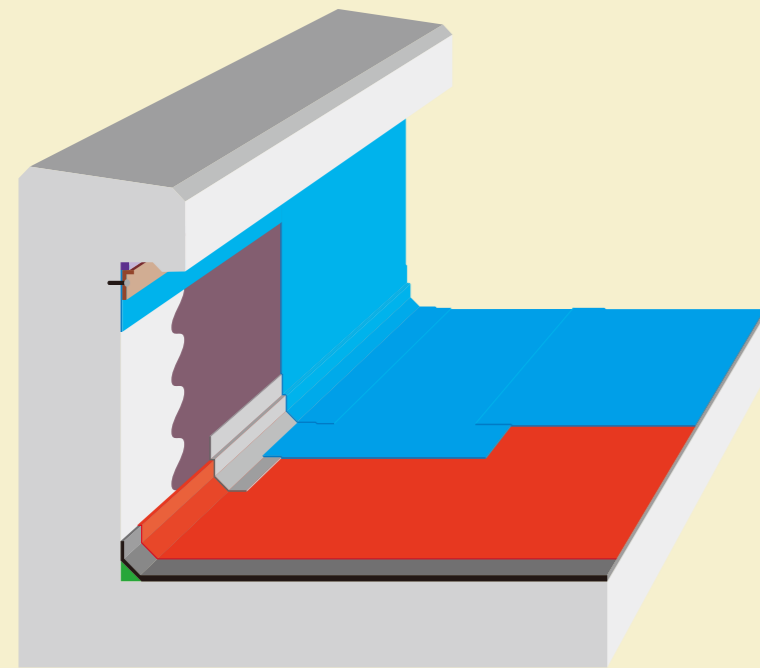
### 改修方法

1. 下地調整材を平場既存防水層上に塗布し表面処理を行う。(保護シルバーの残りが多い場合、メルベースZで対応)
2. 立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



### 既存防水層の撤去・補修

1. 端部押さえ金物の撤去を行う。
2. 立上り部の既存防水層の撤去を行う。  
(雨養生を考え、立上り10～50mm程度残し、シート端部をバーナーで炙り処理する)
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後ポリマーセメントモルタルで下地補修を行う。

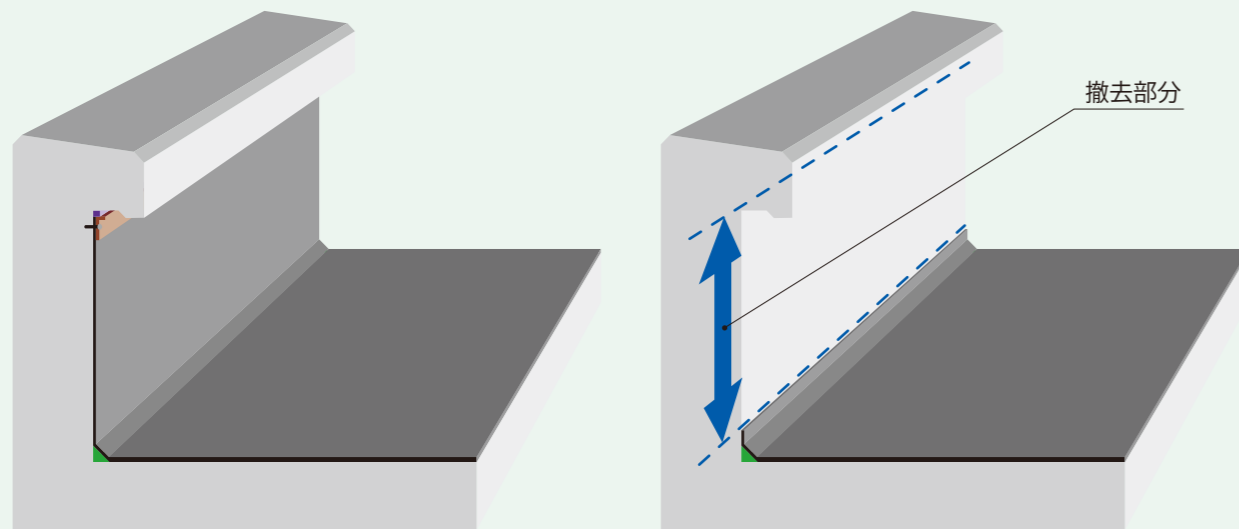


推奨工法  
TA-201工法  
TS-201工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 増し張りテープ
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 新規防水層
- プライマー

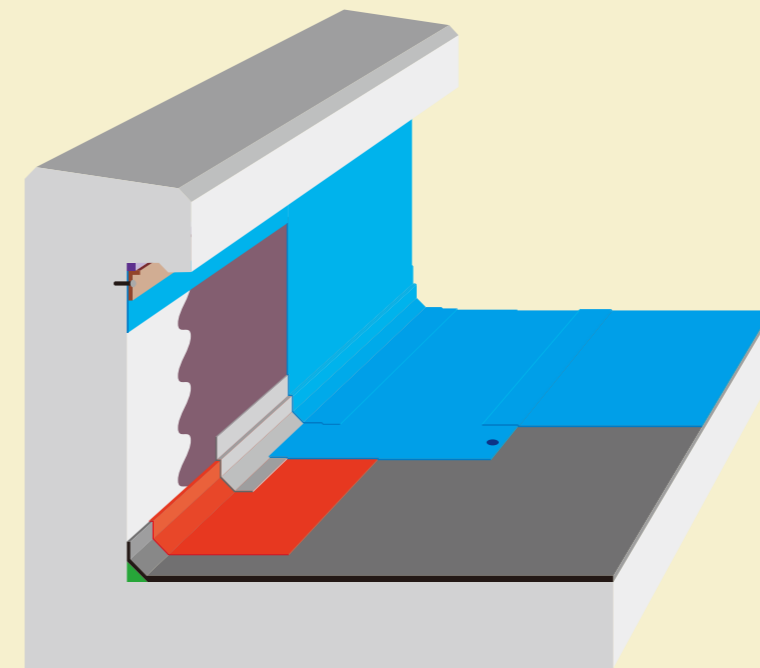
改修方法

1. 下地調整材を平場既存防水層上に塗布し表面処理を行う。(保護シルバーの残りが多い場合、メルベースZで対応)
2. 立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部ー立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



既存防水層の撤去・補修

1. 端部押さえ金物の撤去を行う。
2. 立上り部の既存防水層の撤去を行う。  
(雨養生を考え、立上り10～50mm程度残し、シート端部をバーナーで炙り処理する)
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後ポリマーセメントモルタルで下地補修を行う。

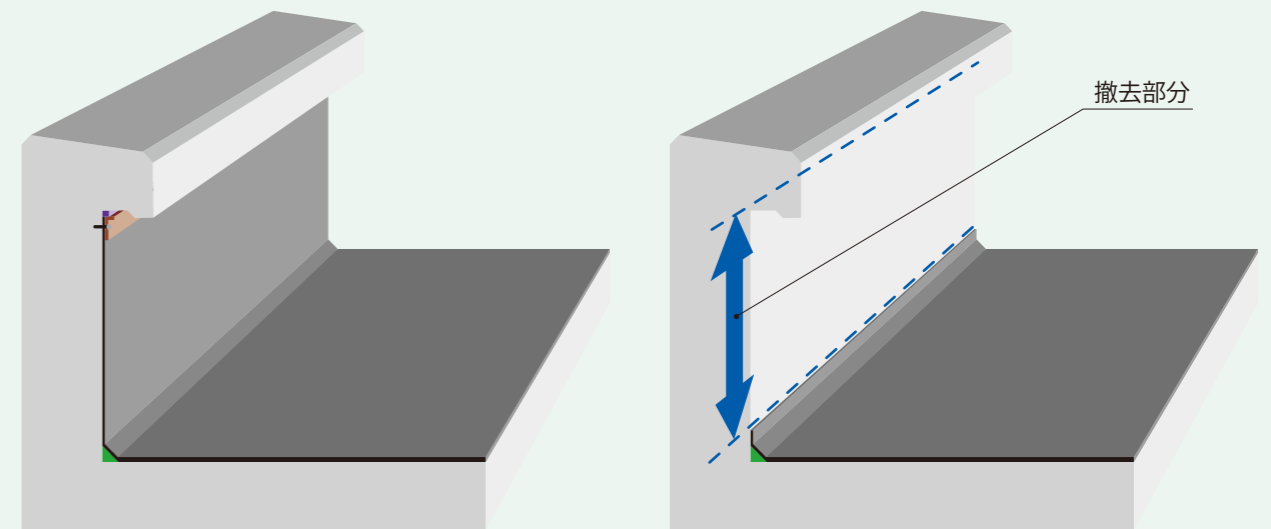


推奨工法  
TA-201M工法  
TS-201M工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 増し張りテープ
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 新規防水層
- 機械固定金具
- プライマー

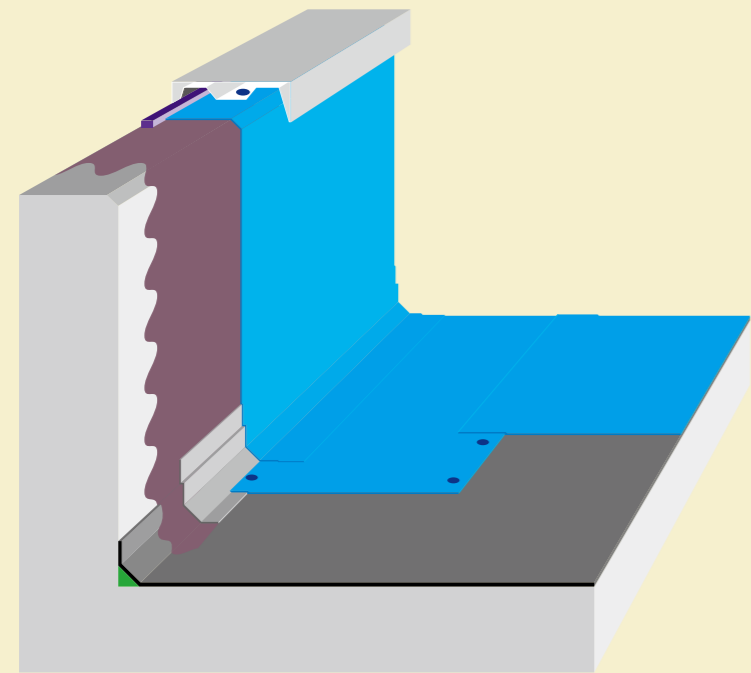
改修方法

1. 下地調整材を立上りより約500mm程度、平場既存防水層上に塗布し表面処理を行う(保護シルバーの残りが多い場合、メルベースZで対応)。
2. 立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部は立上りから約500mmを密着張りで行い、残りは機械固定工法マニュアルに基づきシート固定を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



既存防水層の撤去・補修

1. 端部押さえ金物の撤去を行う。
2. 立上り部の既存防水層の撤去を行う。  
(雨養生を考え、立上り10～50mm程度残し、シート端部をバーナーで炙り処理する)
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後ポリマーセメントモルタルで下地補修を行う。

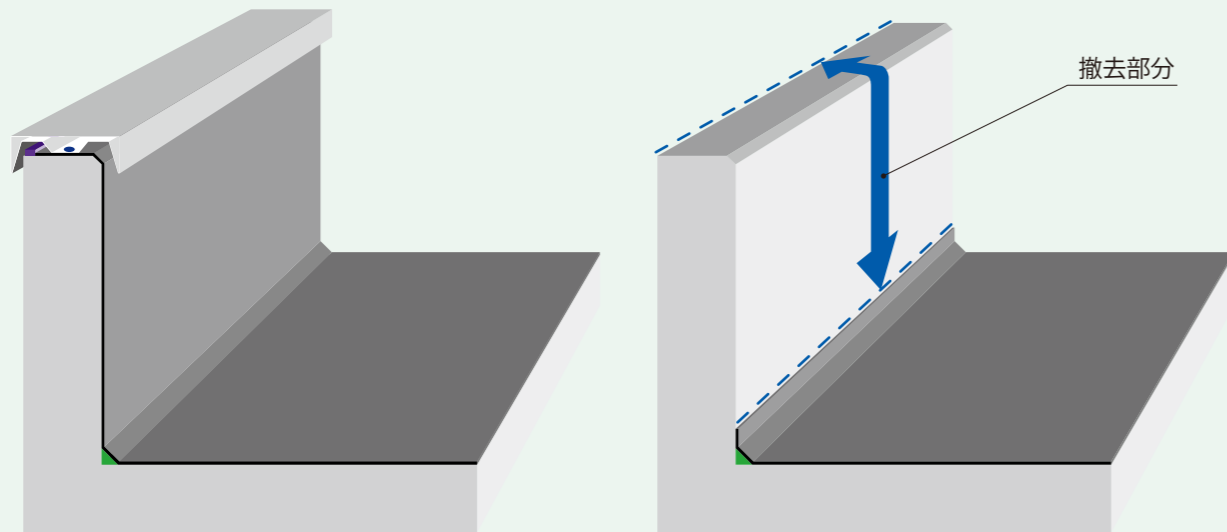


推奨工法  
TA-201M工法  
TS-201M工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 増し張りテープ
- 新規防水層
- 機械固定金具
- プライマー

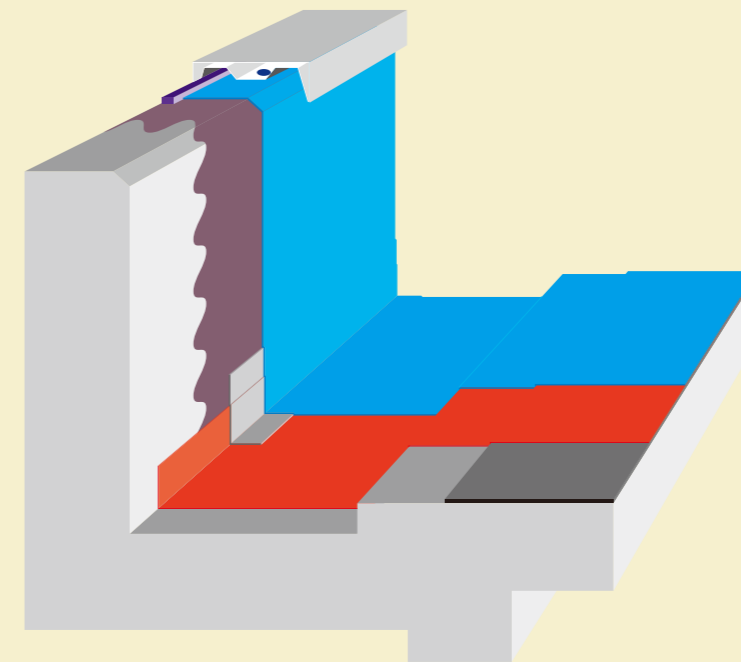
改修方法

1. 立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
2. 立上りコーナー部を増し張りテープで処理を行う。
3. 機械固定工法マニュアルに基づきシート固定を行う。
4. 立上り端部をRAシール処理し、笠木の設置を行う。



既存防水層の撤去・補修

1. 笠木の撤去を行う。
2. 立上り部の既存防水層の撤去を行う。  
(雨養生を考慮、立上り10～50mm程度残し、シート端部をバーナーで炙り処理する)
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後ポリマーセメントモルタルで下地補修を行う。

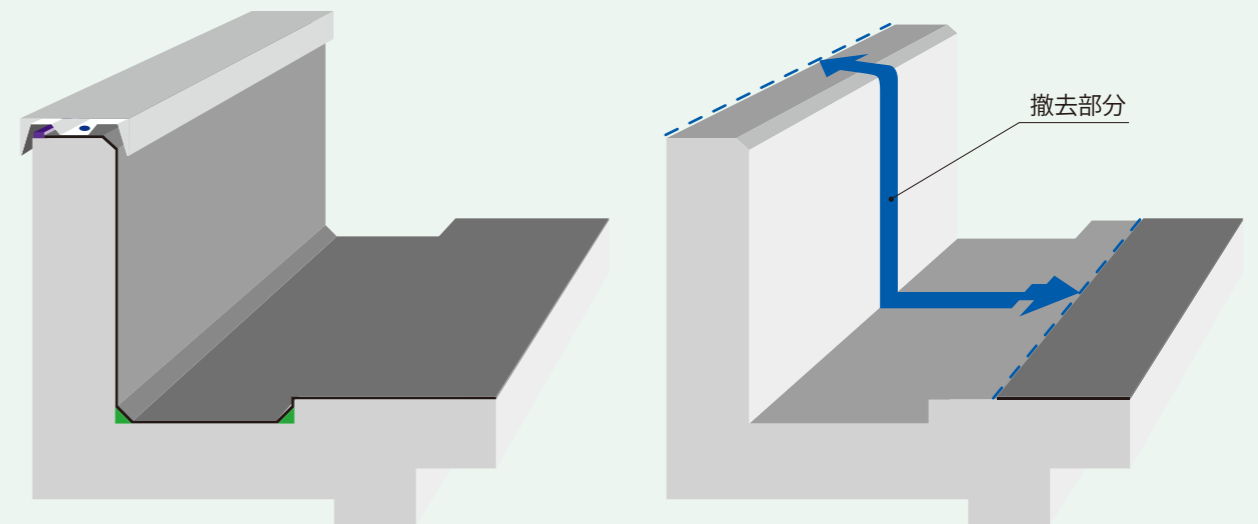


推奨工法  
TA-201工法  
TS-201工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 下地調整材
- 増し張りテープ
- 新規防水層
- プライマー

改修方法

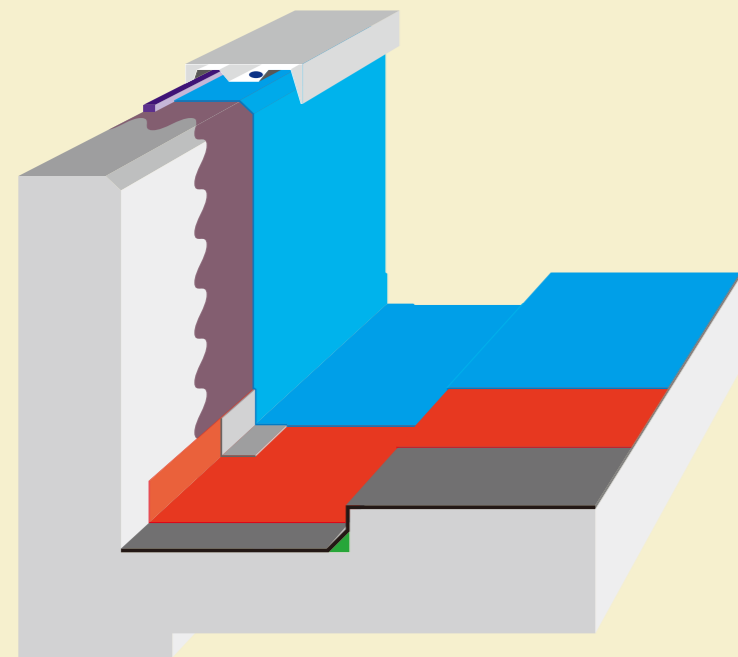
1. 下地調整材としてクイックベースを平場既存防水層上に塗布し表面処理を行う。(保護シルバーの残が多い場合、メルベースZで対応)
2. 立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 上図の通り、側溝部(撤去部分)に下地調整材クイックベースで仮防水を行う。
4. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
5. 立上り端部処理をRAシール処理し、笠木の設置を行う。



既存防水層の撤去・補修(パラペット側溝部の位置が室外の場合)

1. 笠木の撤去を行う。
2. 立上り部及び側溝部について上右図の通り既存防水層の撤去を行う。  
(側溝部の既存防水層は基本的には撤去する)
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後ポリマーセメントモルタルで下地補修を行う。



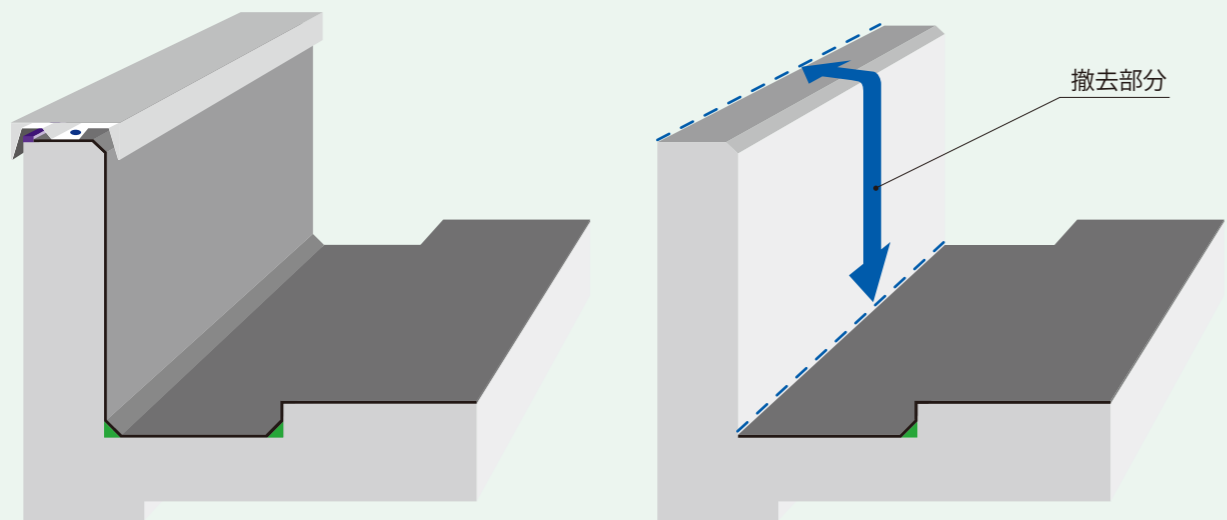


推奨工法  
TA-201工法  
TS-201工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 下地調整材
- 増し張りテープ
- 新規防水層
- プライマー

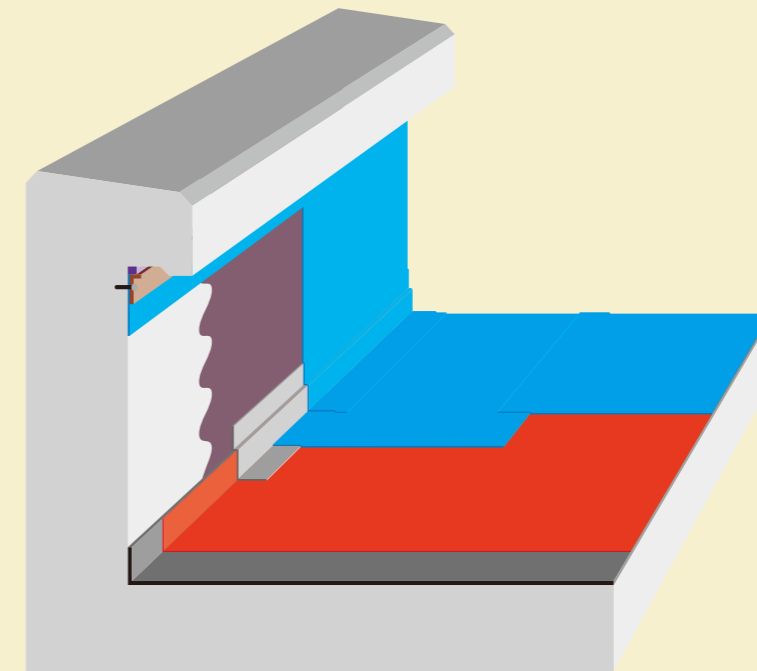
改修方法

1. 下地調整材を平場既存防水層上に塗布し表面処理を行う。(保護シルバーの残りが多い場合、メルベースZで対応)
2. 立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
4. 立上り端部をRAシール処理し、笠木の設置を行う。



既存防水層の撤去・補修(パラペット側溝部の位置が室内上部の場合)

1. 笠木の撤去を行う。
2. 立上り部について既存防水層の撤去を行う。  
(側溝部の既存防水層は、基本的には残すが、不具合がある場合、撤去または補修要す)
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後ポリマーセメントモルタルで下地補修を行う。

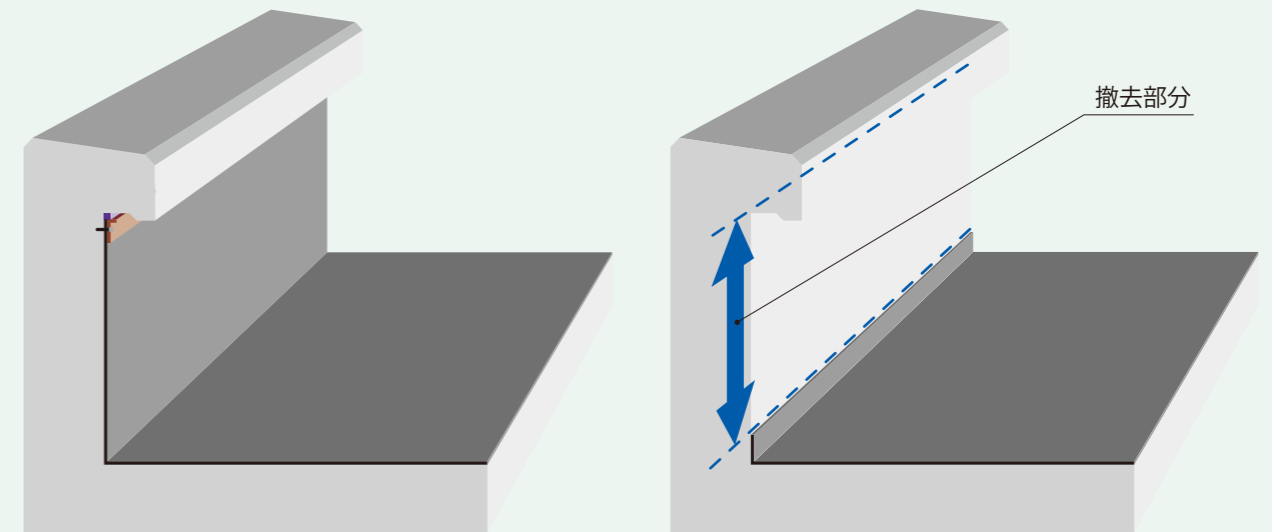


推奨工法  
TA-201工法  
TS-201工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 増し張りテープ
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 新規防水層
- プライマー

改修方法

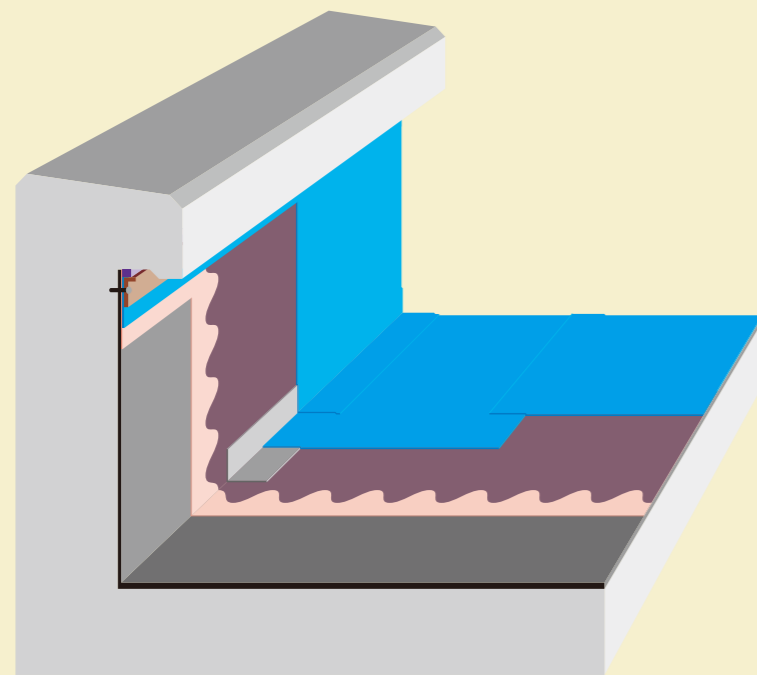
1. 下地調整材を平場既存防水層上に塗布し表面処理を行う。(保護シルバーの残りが多い場合、メルベースZで対応)
2. 立上り部にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



既存防水層の撤去・補修

1. 端部押さえ金物の撤去を行う。
2. 立上り部の既存防水層の撤去を行う。  
(雨養生を考え、立上り10～50mm程度残し、シート端部をバーナーで炙り処理する)
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後ポリマーセメントモルタルで下地補修を行う。

## ウレタン露出工法改修例1



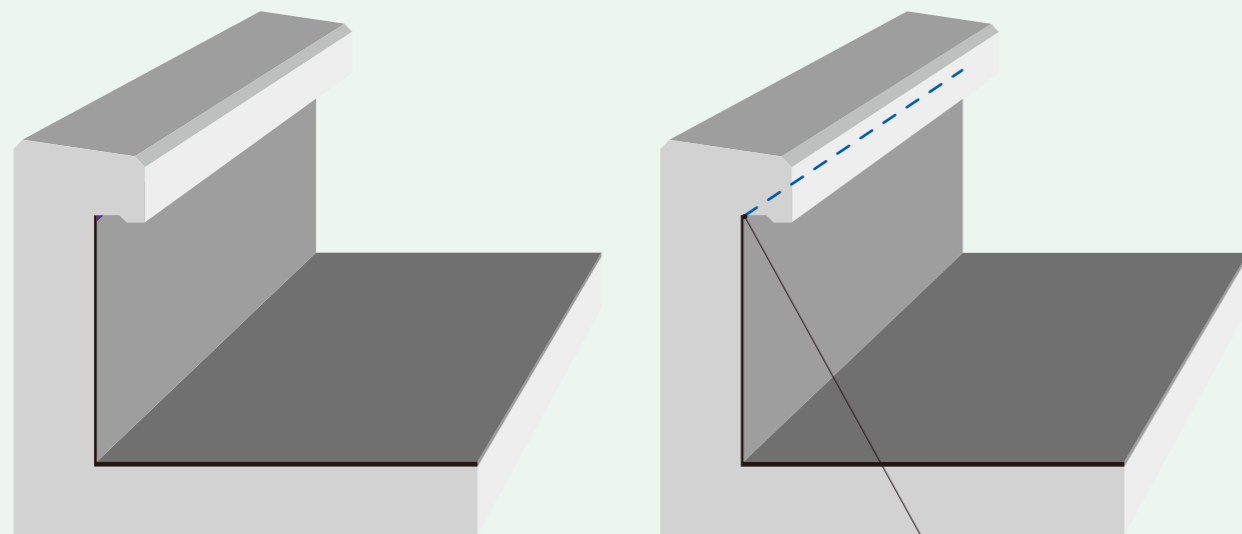
### 推奨工法

TA-201工法  
TS-201工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 増し張りテープ
- 新規防水層
- プライマー

### 改修方法

1. 立上り及び平場部にかけて既存ウレタン塗膜面にユービーカチオンを全面に塗布し表面処理を行う。
2. ユービーカチオン塗布面を含む全面にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。

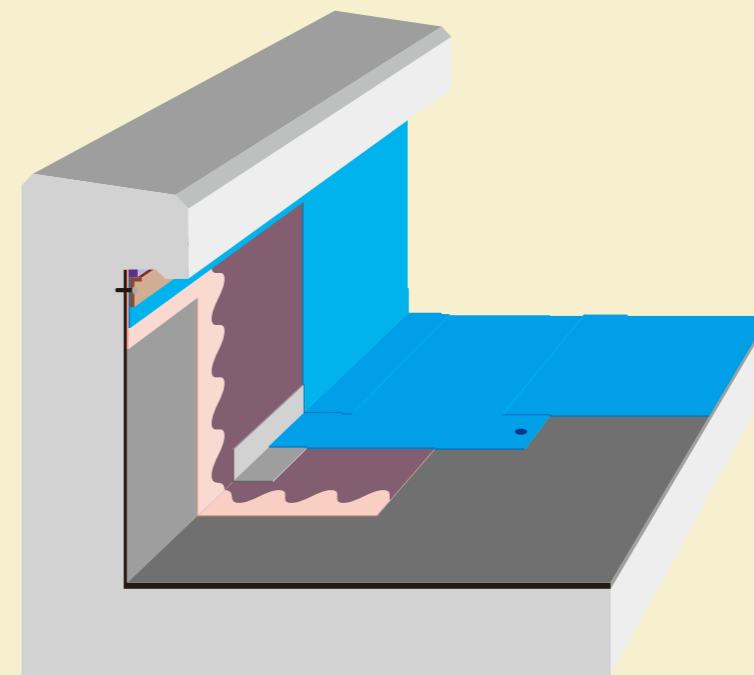


### 既存防水層の撤去・補修

1. 端部シール材の撤去を行う。
2. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。

端部シール材撤去部分

## ウレタン露出工法改修例2



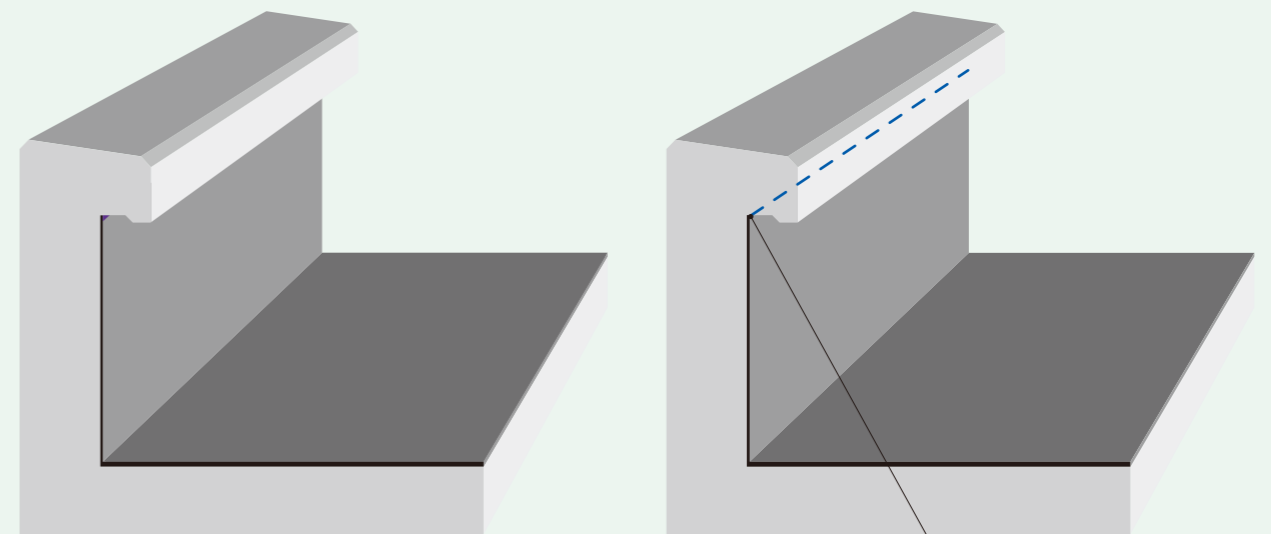
### 推奨工法

TA-201M工法  
TS-201M工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 機械固定金具
- 増し張りテープ
- 新規防水層
- プライマー

### 改修方法

1. 立上り既存ウレタン塗膜面及び平場部の立上りより約500mm程度、ユービーカチオンを塗布し表面処理を行う。
2. ユービーカチオン塗布面にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部は立上りから約500mmを密着張りで行い、残りは機械固定工法マニュアルに基づきシート固定を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。

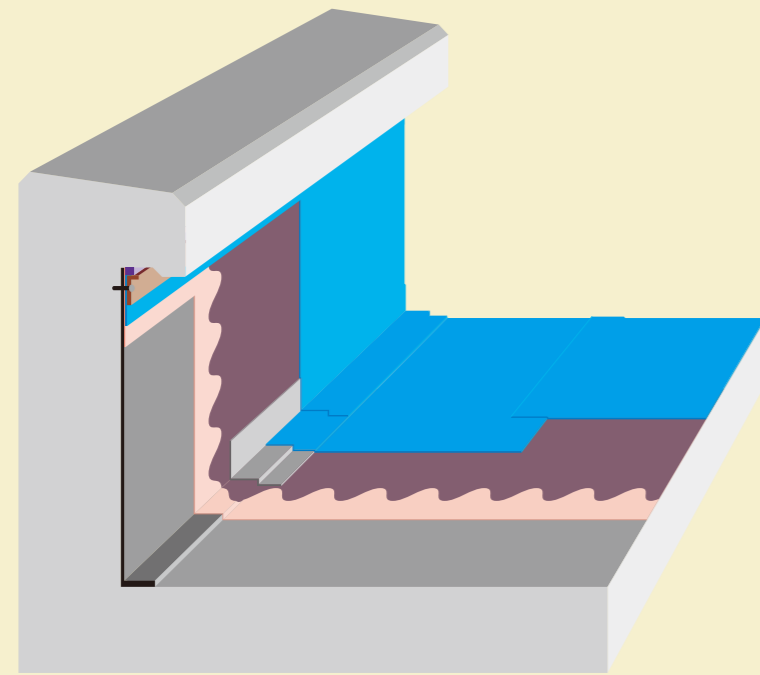


### 既存防水層の撤去・補修

1. 端部シール材の撤去を行う。
2. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。

端部シール材撤去部分

## ウレタン露出工法改修例3



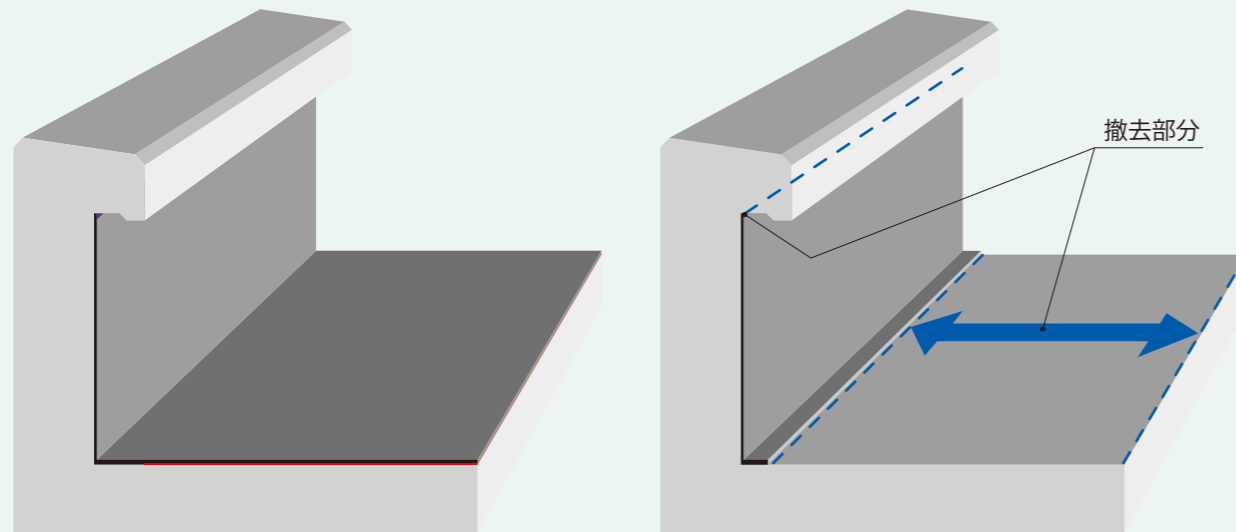
### 推奨工法

TA-202工法  
TS-202工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 通気緩衝シート
- 増し張りテープ
- 新規防水層
- プライマー

### 改修方法

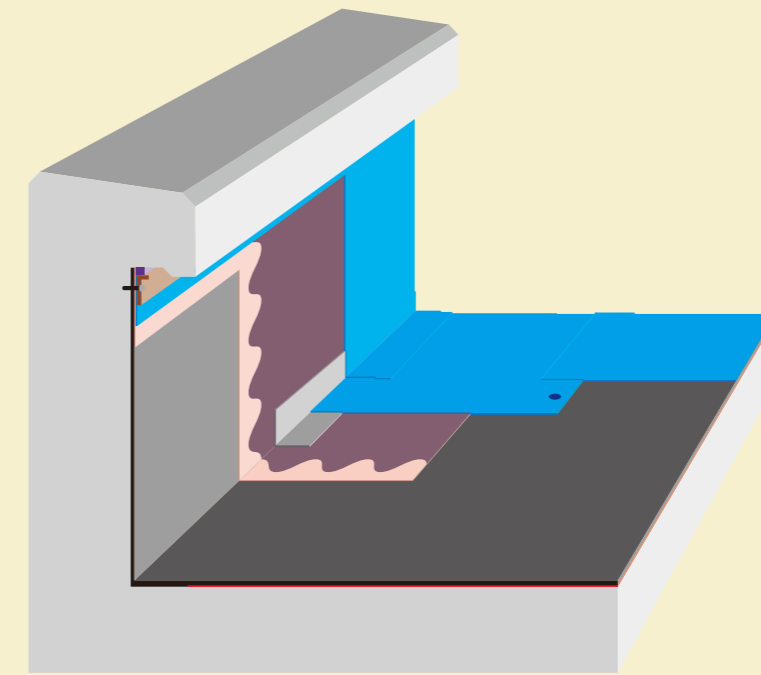
1. 立上り既存ウレタン塗膜面及び平場部にかけて下地調整材としてユービーカチオンを塗布し表面処理を行う。
2. 下地調整材ユービーカチオン塗布面を含む全面にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



### 既存防水層の撤去・補修

1. 端部シール材の撤去を行う。
2. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
3. 平場撤去後の下地補修を行う。
4. 通気工法の場合、平場は撤去を原則とするが、撤去不可能な場合は相談要す。

## ウレタン露出工法改修例4



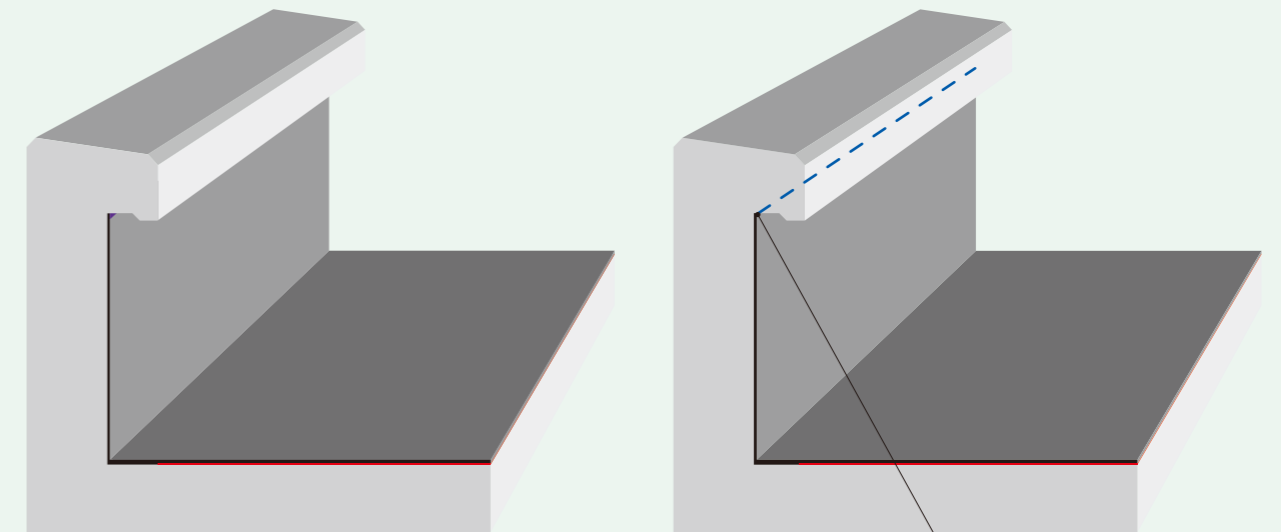
### 推奨工法

TA-201M工法  
TS-201M工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 通気緩衝シート
- 機械固定金具
- 増し張りテープ
- 新規防水層
- プライマー

### 改修方法

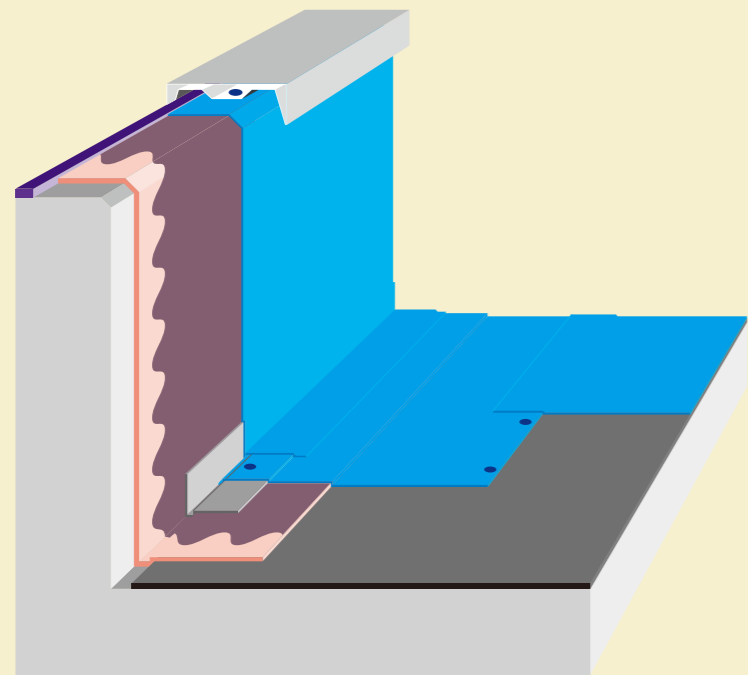
1. 立上り既存ウレタン塗膜面及び平場部の立上りより約500mm程度、下地調整材ユービーカチオンを塗布し表面処理を行う。
2. 下地調整材ユービーカチオン塗布面にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 平場部は立上りから約500mmを密着張りで行い、残りは機械固定工法マニュアルに基づきシート固定を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



### 既存防水層の撤去・補修

1. 端部シール材の撤去を行う。
2. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
3. 通気工法の場合、平場は撤去を原則とするが、撤去不可能な場合は相談要す。

端部シール材撤去部分

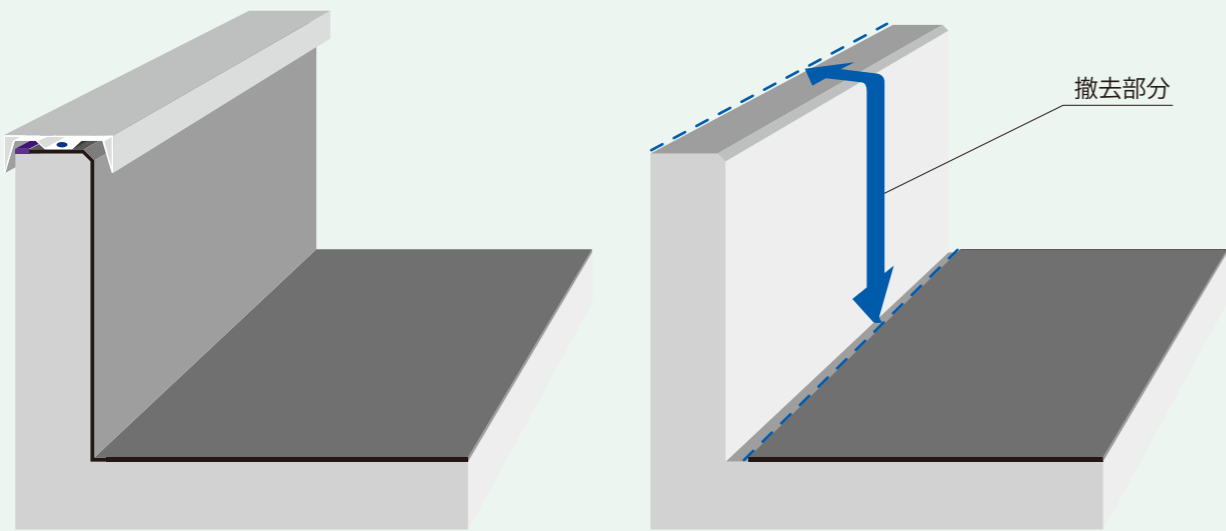


推奨工法  
TA-201M工法  
TS-201M工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 増し張りテープ
- 下地調整材
- 機械固定金具
- 新規防水層
- プライマー

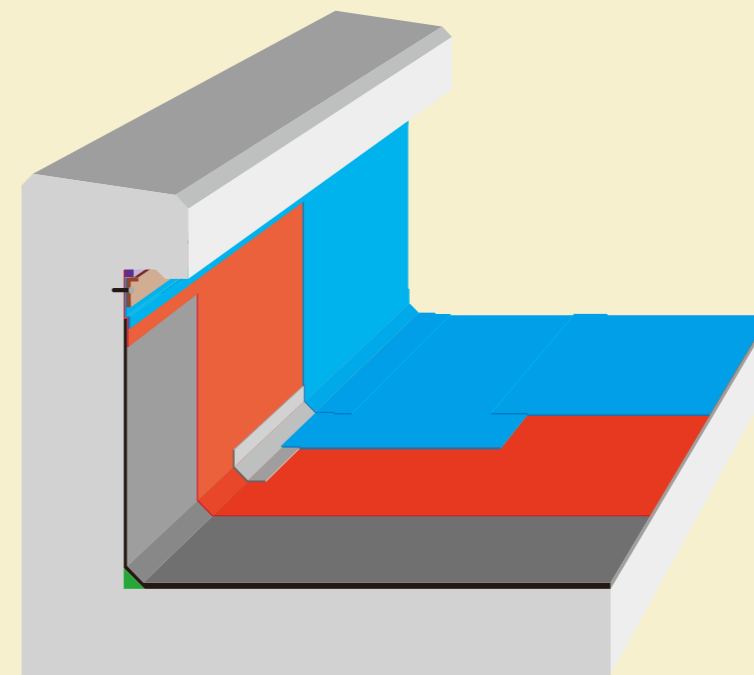
改修方法

1. 立上り及び平場コーナー部にかけて下地調整材コービーカチオンを塗布し、表面処理を行う。
2. 下地調整材コービーカチオン塗布面にメルトーチプライマーを塗布する。
3. 機械固定工法マニュアルに基づきシート固定を行う。
4. 立上り端部処理をRAシール処理し、笠木の設置を行う。



既存防水層の撤去・補修

1. 笠木の撤去を行う。
2. 立上り部の既存防水層の撤去を行う。
3. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
4. 立上り撤去後の補修を行う。

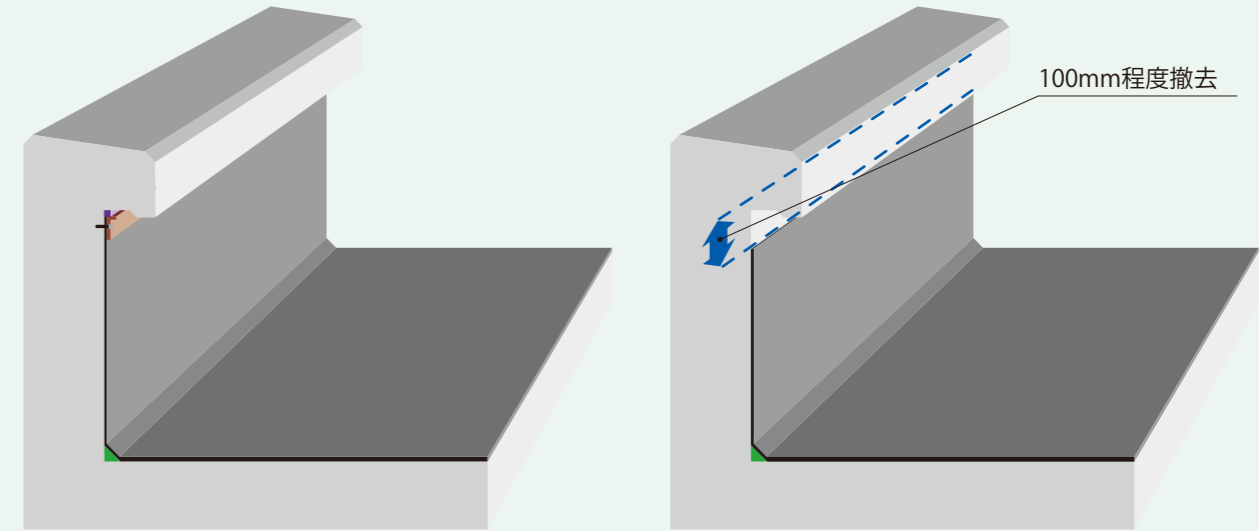


推奨工法  
TA-201工法  
TS-201工法

- 既存防水層
- 端部シール材
- 押さえ金物
- 下地調整材
- 増し張りテープ
- 新規防水層

改修方法

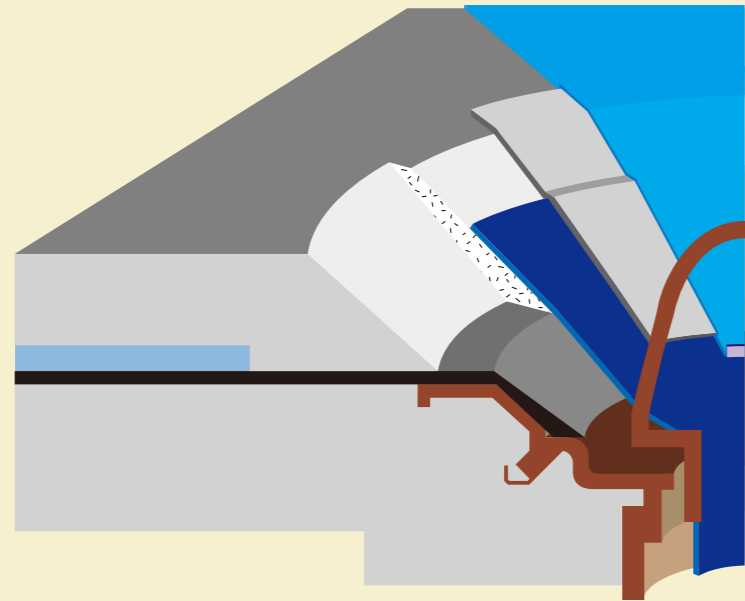
1. 立上り端部はバーナーで金鋲押さえを行い端部処理を行う。
2. 平場及び立上り部に下地調整材を塗布し表面処理する。立上り部はしごくように塗りつける。(保護シールの残りが多い場合、メルベースZで対応)
3. 平場部→立上り部の順でメルトーチの施工を行う。
4. 立上り端部処理を押さえ金物を用いて行い、RAシール処理する。



既存防水層の取り扱い

- ※ アゴ下より約100mm程度は既存防水層を撤去する。
1. 端部押さえ金物の撤去を行う。
  2. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去及び補修を行う。
  3. 立上りコーナー部の浮き確認を行い補修が必要な箇所は補修する。

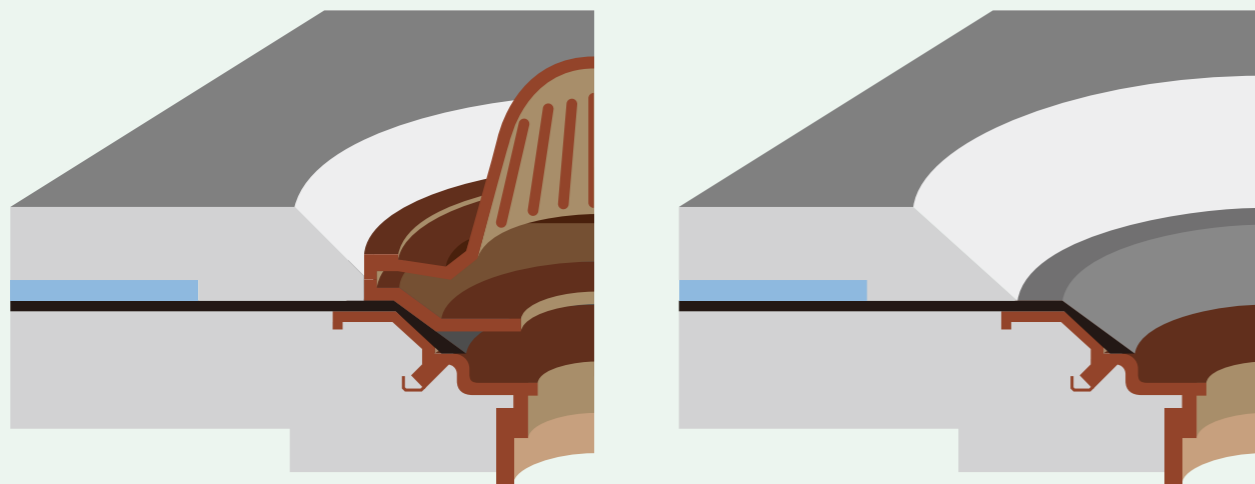




	既存防水層
	断熱材
	保護モルタル層
	端部シール材
	増し張りテープ
	レッドドレン(鉛ドレン)
	新規防水層

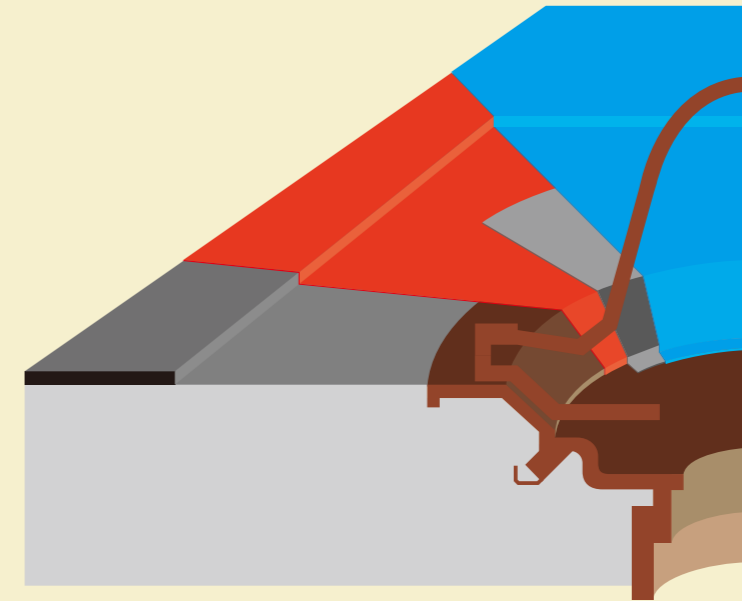
改修方法

1. レッドドレンを上図の通り、既存ドレン部分にセットする。
2. 増し張りテープをレッドドレンの鍔及び鍔から100mm程度の範囲の下地に、張りかけるように、上図の通り張り付ける。
3. 上図の通り、新規防水層の施工を行う。
4. 改修用ストレーナをセットする。



既存防水層の撤去

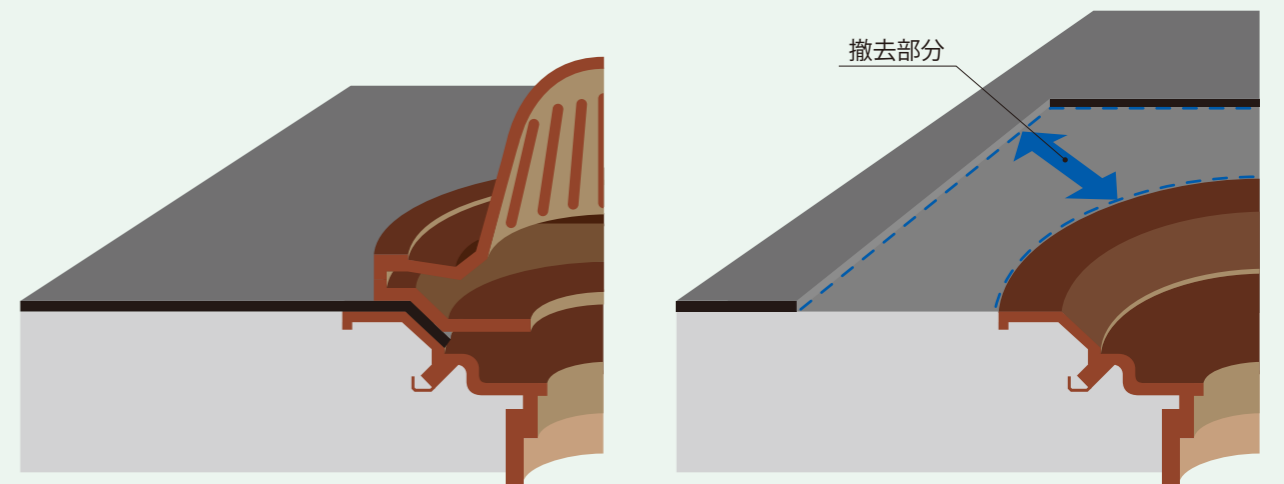
1. 既存ストレーナ金物の撤去
2. ストレーナ中皿の撤去



	既存防水層
	増し張りテープ
	下地調整材
	新規防水層

改修方法

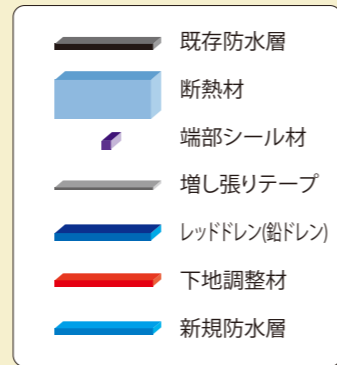
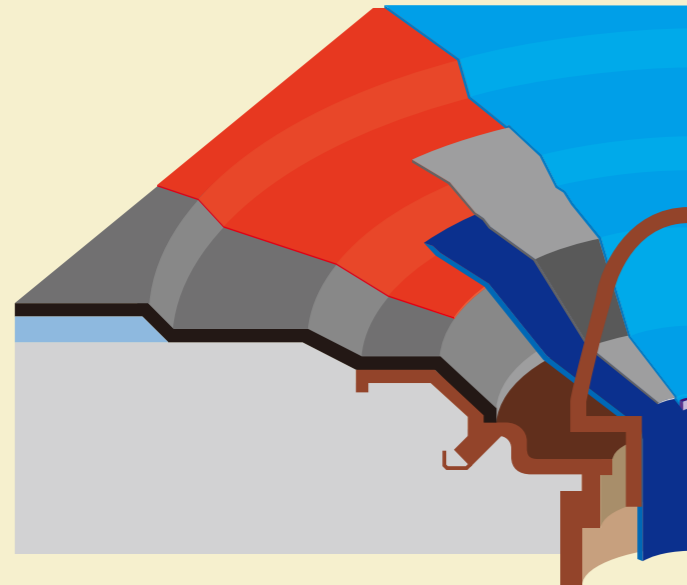
1. クイックベースを既存防水層上及び撤去部分に塗布し表面処理及び仮防水を行う。
2. 増し張りテープをドレンのツバ及びツバから100mm程度の範囲の下地に、張りかけるように、上図の通り張り付ける。
3. 上図の通り、新規防水層の施工を行う。



既存防水層の撤去

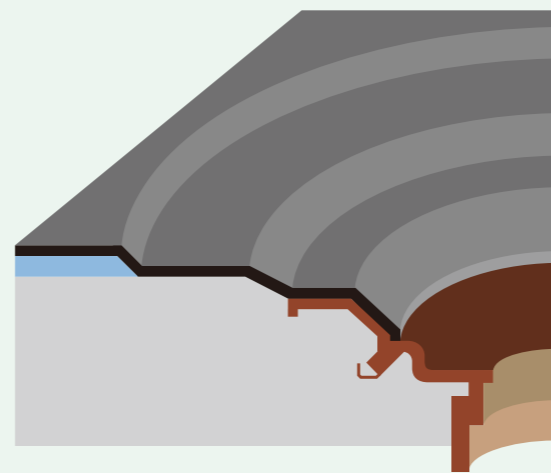
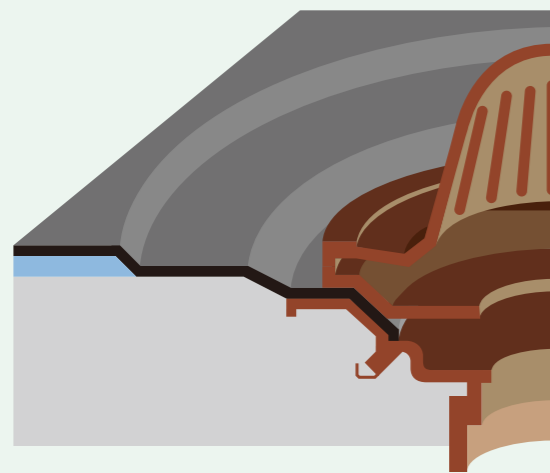
1. 上右図の通り、ドレンツバより300mm角程度既存防水層の撤去を行う。
2. 既存ストレーナ金物の撤去
3. ストレーナ中皿の撤去

## 熱アス露出断熱工法ドレン廻り改修例



### 改修方法

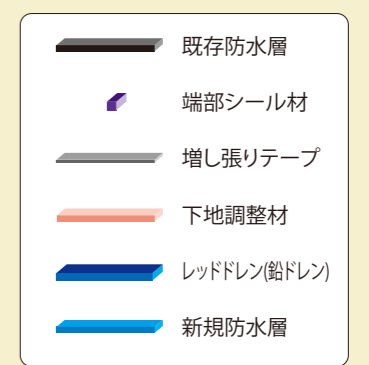
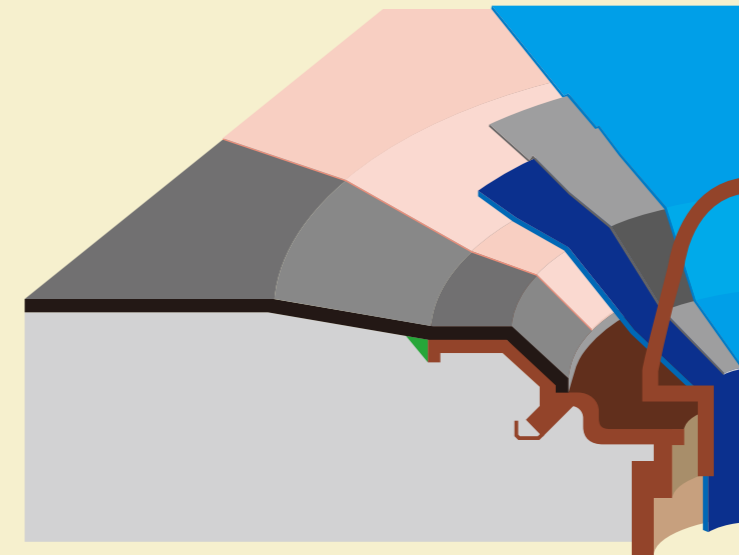
1. 下地調整材を既存防水層上に塗布し表面処理を行う。
2. 鉛ドレンを上図の通りセットし、増し張り用テープを鉛ドレンのツバ及びツバから100mm程度の範囲の下地に、張りかけるように、上図の通り張り付ける。
3. 上図の通り、新規防水層の施工を行う。



### 既存防水層の撤去

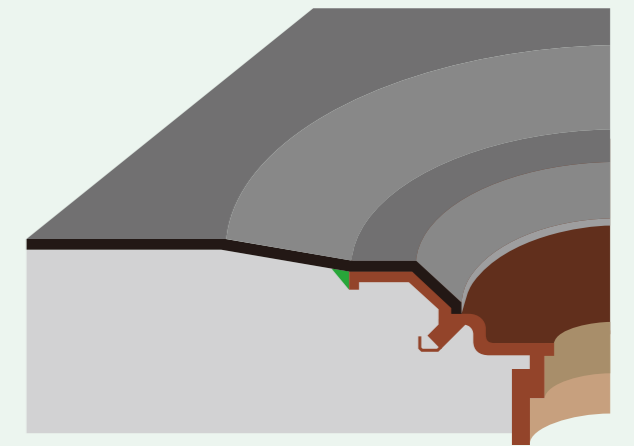
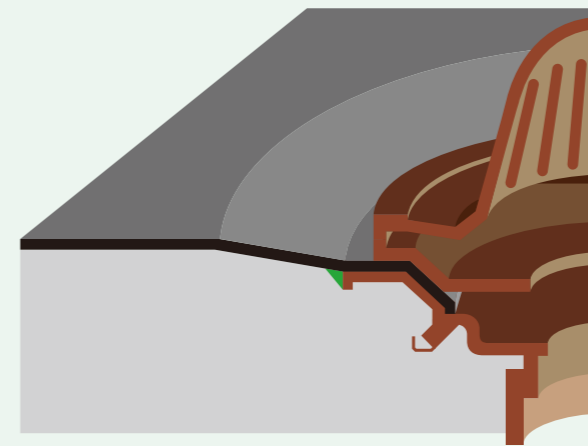
1. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去又は補修を行う。
2. 既存ストレーナ金物の撤去
3. ストレーナ中皿の撤去

## ウレタン防水ドレン廻り改修例



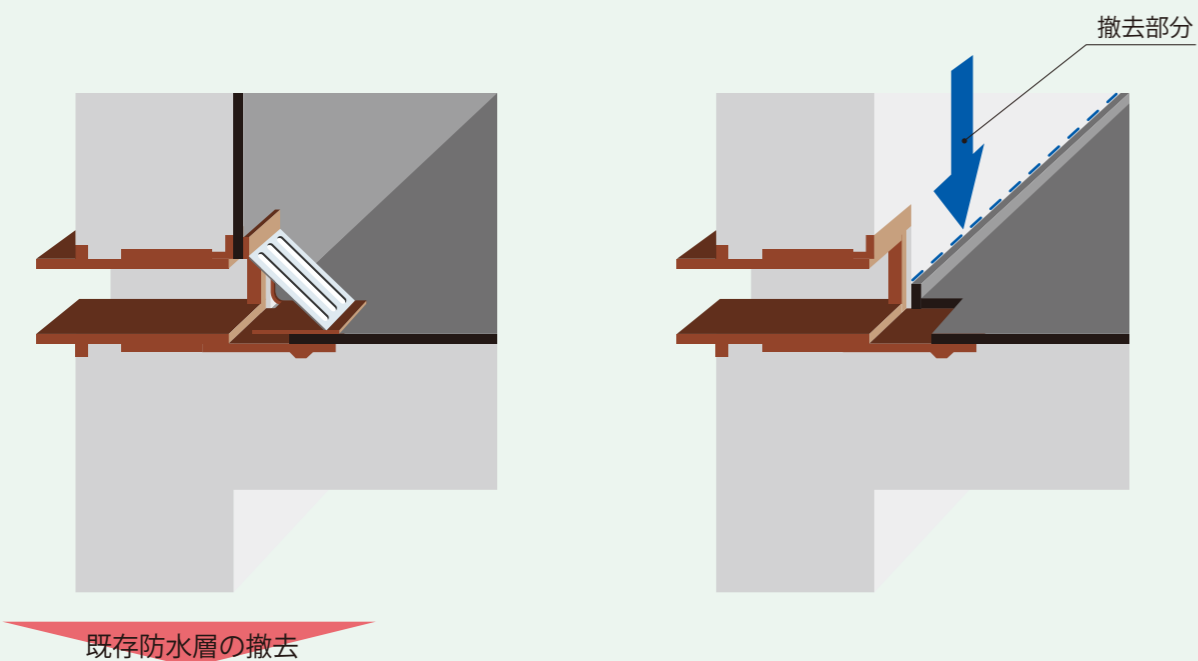
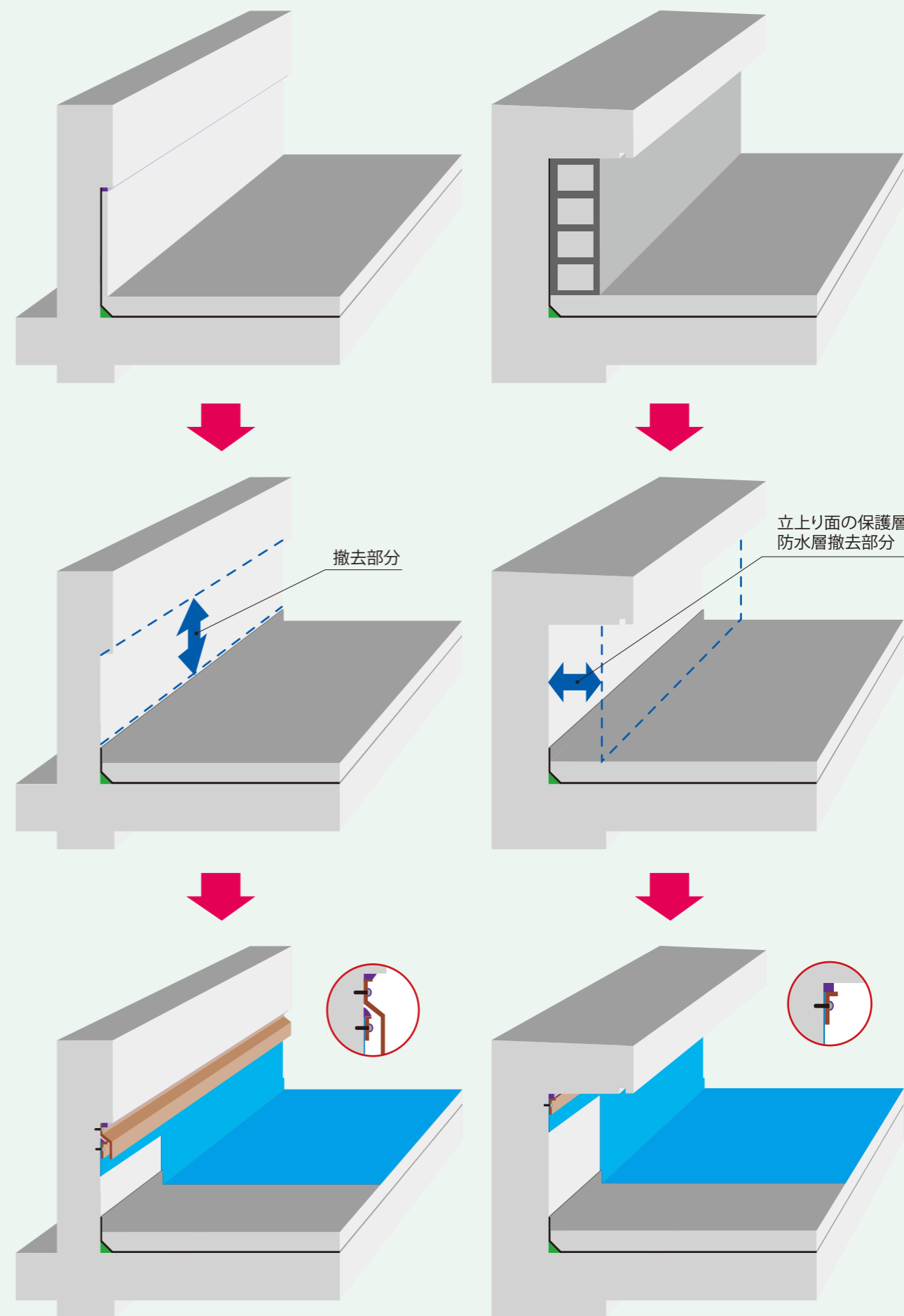
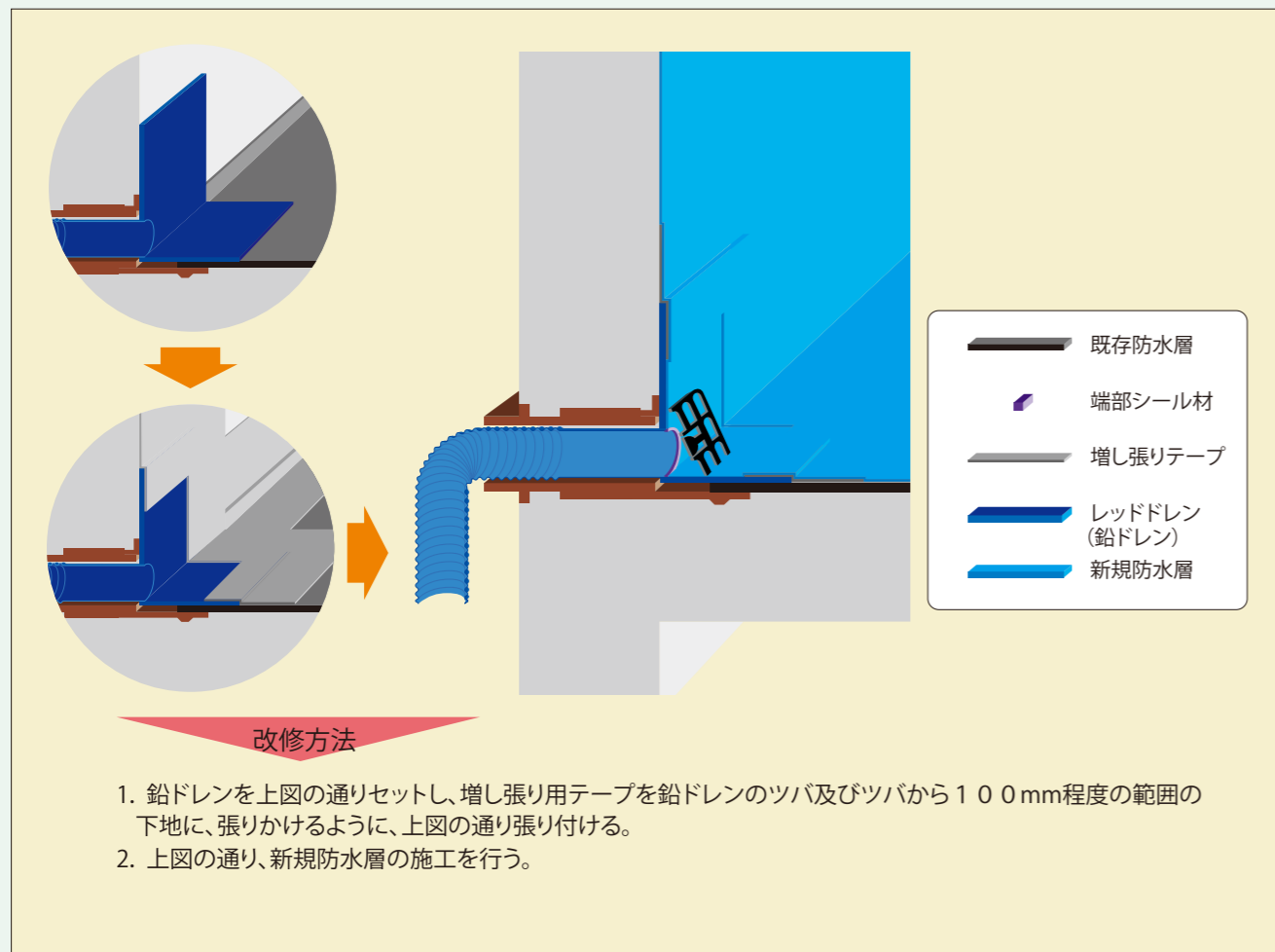
### 改修方法

1. 既存ウレタン塗膜面にコービーカチオンを塗布し表面処理を行う。
2. 鉛ドレンを上図の通り、既存ドレン部分にセットする。
3. 増し張りテープを鉛ドレンのツバ及びツバから100mm程度の範囲の下地に、張りかけるように、上図の通り張り付ける。
4. 上図の通り、新規防水層の施工を行う。
5. 改修用ストレーナをセットする。



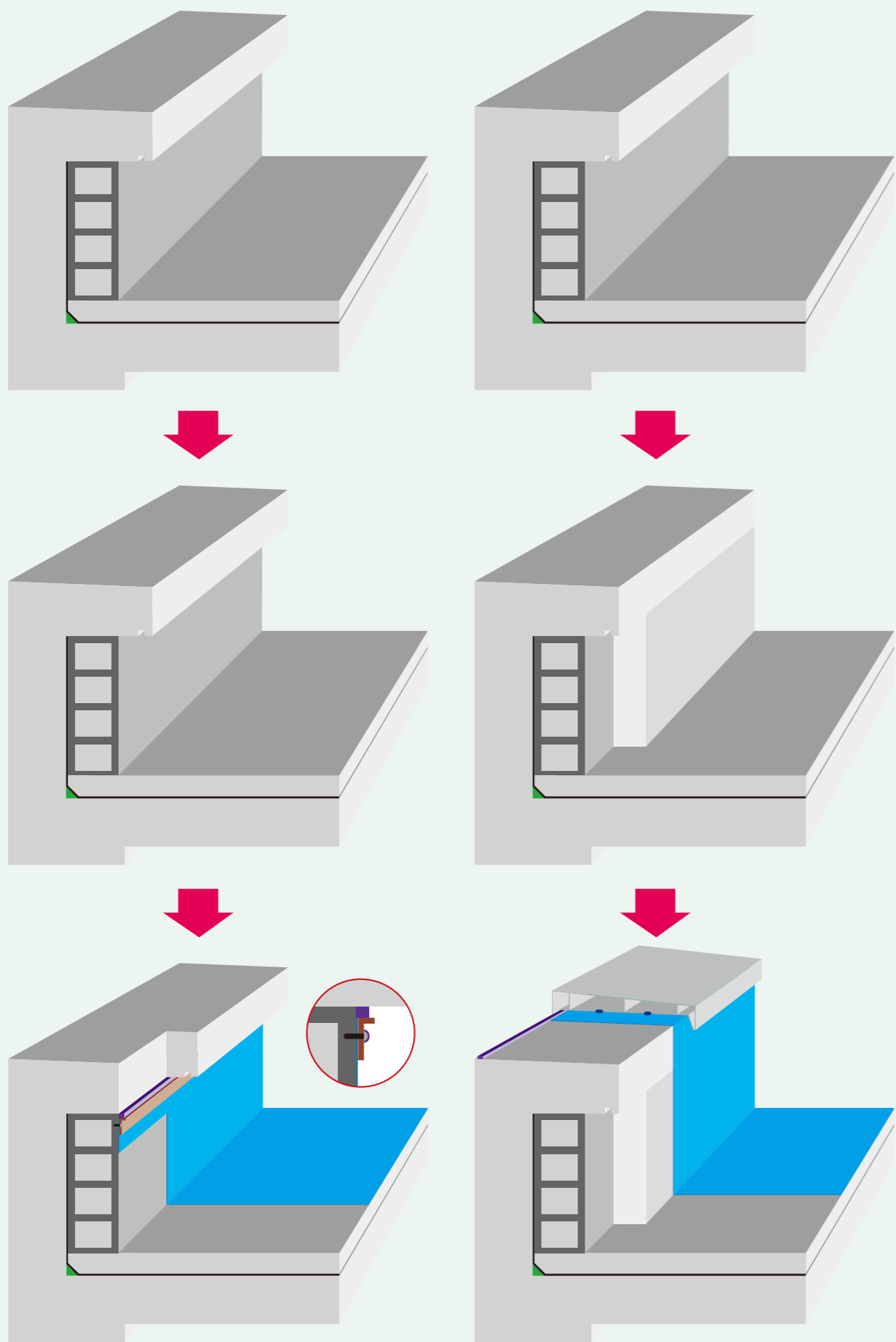
### 既存防水層の撤去

1. 膨れ、劣化の激しい箇所の撤去又は補修を行う。



1. 上右図の通り、立上がりのみ既存防水層の撤去を行う。  
(雨養生を考え、立上り10~50mm程度残し、シート端部をバーナーで炙り処理する)
2. 既存ストレーナ金物の撤去

## 立上り納まり例2



## 架台配管納まり例

